

8月の都内経済状況




きらぼし銀行  
連携推進部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		8月の都内の景気は、新型コロナウイルスの感染者の急増を受け、個人消費を中心に厳しい状況が続いており、持ち直しの動きに弱さがみられた。乗用車販売、輸出は前年を上回った。百貨店、スーパー、コンビニエンスストアの売上、住宅着工、公共投資は前年を下回った。2021年度の設備投資額は増加見込み、経常利益は増益見込みとなっている（法人企業）。有効求人倍率は前月から低下した。企業倒産件数は3ヵ月連続で前年を下回った。
今後の見通し（3ヵ月）		都内の景気は、ワクチン接種の進展、緊急事態宣言の解除等により個人消費の回復が見込まれ、持ち直していくことが期待される。
個人消費	百貨店売上高 	百貨店売上高は、前年同月比▲9.8%（既存店ベース）と6ヵ月ぶりに前年を下回った。感染急拡大で外出自粛傾向が強まったうえ、混雑時の入場制限を実施した影響もあった。
	スーパー売上高 	スーパーの売上高は、前年同月比▲4.0%（既存店ベース）と7ヵ月連続で前年を下回った。天候不順の影響もあり衣料品等が減少した。
	コンビニ売上（関東） 	関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比▲1.6%（全店ベース）と6ヵ月ぶりに前年を下回った。感染急拡大や天候不順等で来店客数が減少した。
	乗用車販売台数 	乗用車販売台数（軽を含む）は、前年同月比3.1%増と5ヵ月連続で前年を上回った。半導体不足や部品調達難による減産の影響もあり2019年同月比では▲16.7%。車種別では、普通車（前年同月比7.4%増）、小型車（同4.3%増）は前年を上回ったが、軽乗用車（同▲11.1%）は3ヵ月連続で前年を下回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比▲13.0%と8ヵ月ぶりに前年を下回った。利用関係別では、持家（同13.8%増）、分譲一戸建（同16.9%増）は増加したが、分譲マンション（同▲18.5%）貸家（同▲19.9%）が減少した。
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比▲56.6%と4ヵ月連続で前年を下回った。発注者別では、国（同23.5%増）は増加したが、独立行政法人（同▲94.7%）、東京都（同▲32.4%）、市区町村（同▲25.0%）地方公社（同▲41.9%）が減少した。
貿易（東京税関管内）		東京税関管内の輸出入額は前年同月比28.7%増と9ヵ月連続で前年を上回った。主要地域別では、アメリカ向け（同34.6%増）は6ヵ月連続、アジア向け（同36.4%増）は9ヵ月連続、EU向け（同22.8%増）は11ヵ月連続で前年を上回った。
設備投資（法人企業）		東京財務事務所「法人企業景気予測調査（7～9月調査）」によると、都内の法人企業（資本金1千万円以上）の2021年度の設備投資計画額は、全産業が前年比10.9%増の増加見込み、業種別では製造業が同19.5%増、非製造業は同7.5%増といずれも増加見込みとなっている。
企業収益（法人企業）		同上調査によると、都内の法人企業（同上）の2021年度の経常利益は、全産業が前年比14.7%増の増益見込み、業種別では製造業が同18.0%増、非製造業が同13.2%増といずれも増益見込みとなっている。
労働需給		有効求人倍率（季調値）は1.18と前月から0.01ポイント低下した。先行指標とされる新規求人数は前年同月比4.3%増と2ヵ月連続で前年を上回った。南関東の完全失業率は3.1%と前月から0.1ポイント上昇。
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲32.3%と3ヵ月連続で前年を下回ったが、負債総額は同80.7%増と3ヵ月ぶりに前年を上回った。1～8月累計の倒産件数を業種別に見ると、運輸業・郵便業（同25.0%増）、建設業（同6.0%増）などは増加したが、宿泊業・飲食サービス業（同▲35.1%）、卸売業（同▲25.5%）などが減少した。
資金需要（銀行）		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比0.6%増と120ヵ月連続で前年を上回り、増加幅は前月から0.1ポイント拡大した。

工業生産指数（季調値） （ ）は前年同月比%	工業在庫指数（季調値） （ ）は前年同月比%	消費者物価指数 （ ）は前年同月比%	（一〇メモ） 東京都の高齢者人口が過去最高を更新
5月 89.9 ( 20.2)	5月 79.4 ( ▲14.1)	6月 99.5 (▲0.5)	東京都の推計によると、今年9月15日時点の都内の高齢者（65歳以上）人口は、311万6千人となり、前年に比べ2千人の増加で過去最高を更新した。高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は23.4%（4.3人に1人）で、前年から横這い。
6月 95.1 ( 24.3)	6月 82.8 ( ▲9.5)	7月 99.8 (▲0.4)	
7月 93.8 ( 22.5)	7月 85.6 ( ▲5.2)	8月 99.8 (▲0.4)	

\*工業生産指数・在庫指数は2015年平均=100、消費者物価指数は2020年平均=100。\*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨